

賃貸住宅の電子申込サービス拡充 他業種と連携し、業務効率化促す

セイルポート

不動産賃貸業者向けシステム開発のセイルポート（中区紙屋町2-1-22、西野量社長）は、賃貸住宅の電子申し込みサービス「キマRoom! Sign」を拡充する。従来の申し込みに加え、今夏から契約手続きを電子化対応するほか、家賃保証、火災保険など、賃貸物件の入居に関連する書類

も電子化できる「同コネクト」を提供。主力の業者間流通システム「キマRoom!」と合わせ賃貸住宅の管理・仲介会社に全国1000件の導入実績があり、申込者の利便性向上と導入先の業務効率化を促す。

賃貸契約では一般的に、「入居申込書」のほか、入居審査後の契約手続きに関する書類の数が多く、何度も郵送を繰り返すことがあるという。タブレット端末に直接書き込んで電子化する方式で、申込者だけではなく、管理、仲介会社の業務を効率化。筆跡が確認できるため、入居申込書の内容を家賃保証等の審査書類などにも転記でき、申し込みにかかる時間を約3分の1に短縮できる。

また、契約時の周辺業務を担当する業種と連携したコネクトを開始。第1弾で、家賃保証会社と家賃保証の審査請求を電子化するサービスを始める。従来はファクスで行われていたやり取りを、システム画面上の1クリックで送信。審査結果もサービス上で確認できる。料金は管理会社が初期費用5万円、月額基本料1万円ほか。業界大手を中心に導入を提案中。今後は火災保険や浄水器などの付帯商品、管理システムなどにも連携を拡充し「不動産業務の電子

プラットフォーム」を目指す。